

神戸市外国語大学 学術情報リポジトリ

back numbers 1996-2005

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2006-06-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/1305

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



神戸外大論叢総目次

神戸外大論叢総目次

注 外事論叢第1巻第1号～第3巻第1号、
 外大論叢第1巻第1号～第6巻第2号迄は
 第7巻第1～3号（創立十周年記念特集）に掲載済
 外大論叢第7巻第1～3号～第16巻第6号迄は
 第17巻第1～3号（創立二十周年記念特集）に掲載済
 第17巻第1～3号～第26巻第6号迄は
 第27巻第1～3号（創立三十周年記念特集）に掲載済
 第27巻第1～3号～第36巻第6号迄は
 第37巻第1～3号（創立四十周年記念特集）に掲載済
 第37巻第1～3号～第46巻第7号迄は
 第47巻第1～4号（創立五十周年記念特集）に掲載済

第47巻 第1～4号創立五十周年記念特集 平成8年（1996）6月

50周年記念号発刊によせて.....	学 長
語 学 文 学	
行動を読む——文化記号としての行動.....	中 野 道 雄
フォーカナーと知覚の超越性.....	田 川 幸二郎
Simultaneous Offerings: Some Places	
Where Art, Science, and Religion Reside	David Farrah
How to Stay Human:	
Paranoia and Anti-Paranoia in V.	Toshiki Kashihara
「三度目の南スラブの影響」について	岡 本 崇 男
СУФИКСАЛЬНЫЕ НАИМЕНОВАНИЯ ЛИЦ В РУССКОМ	
ЯЗЫКЕ НОВЕЙШЕГО ПЕРИОДА.....	Г.В.РАГУЛЬСКАЯ
時制研究史における AMÉ と NE AMADO [I]	西 川 喬
寄り添う言葉.....	武 内 旬 子
アシア・ジェバール『影スルタン妃』をめぐって	
宋代语言学变革的三个层面.....	申 小 龙

元朝秘史傍訳における蒙古語

- 名詞格語尾の中国語訳の研究 山川英彦
 『古今小説』各巻の成立をめぐって 佐藤晴彦

—Hanan 氏説の検討—

- 北方方言怪音例集 (5) 太田 齋
 —語流音變以及其他特殊音變—

- 魯迅『古小說鉤沈』校本 七 殷芸小說(續) 中島長文
 社会科学

コーポレートガバナンスの考え方

-マリスモデルの展開と会計 前山誠也
 個人の尊厳と音の規制(その1) 大島和夫
 International Alliance and

- Competitive Strategy Nanshi F.Matsuura
 イギリス法における裁量信託 植田淳
 Gary Snyder と宇宙家族 篠田実紀

性と家族の意義を問う

人文科学

- 永遠と時間(I) 小浜善信
 —トマスとプロティノス—

- 京阪アクセントにおける低接非上昇調について 中井幸比古
 ウェールズ語聖書と古代ブリテン伝説 指昭博
 —宗教改革とアイデンティティ—

- <自然>のうえに分節を施す(上) 山名淳
 —ドイツ田園教育舎ハウビンダ校空間に関する一考察—

本誌既刊号総目次

学位(修士)論文総題目

第47巻 第5~6号 合併号 1996年10月

- “window”から見た語法文法 和田四郎
 古プロシア語 ENCHIRIDION

- の翻訳言語について 井上幸和
 メタ言語能力と外国語教育 村田純一
 Some New Aspects of Negative Contraction
 in Different Dialects of Middle English Yoko Iyeiri

北方方言怪音例集（6完）

——語流音變以及其他特殊音變—— 太田 齋

ЗАИМСТВОВАННЫЕ

НАИМЕНОВАНИЯ ЛИЦ В РУССКОМ

ЯЗЫКЕ НОВЕЙШЕГО ПЕРИОДА Г.В.РАГУЛЬСКАЯ

魯迅『古小說鉤沈』校本 八 殷芸小說（二續） 中島長文

第47巻 第7号 小原三佑嘉 教授 記念号 1996年10月

小原三佑嘉先生の研究業績について 栗山 修

名目為替相場アンカーについて 山上 宏人

わが国における不公正な証券取引の規制 栗山 修

個人の尊厳と音の規制（その2） 大島 和夫

イギリス法における禁反言の法理 植田 淳

——物権的禁反言を中心として——

永遠と時間（Ⅱ） 小浜 善信

——トマスとプロティノス——

京都山城地方のエスニック・スポーツ 竹谷 和之

——祝園神社の綱引神事——

<自然>のうえに分節を施す（下） 山名 淳

——ドイツ田園教育舎ハウビンダ校空間に関する一考察——

研究雑考 小原 三佑嘉

第48巻 第1号 1997年9月

結婚の法律的意味（その1） 大島 和夫

イギリス法における復帰信託と共同意思擬制信託 植田 淳

——物権的法形式に対する受益調整機能——

技術標準とスイッチング・コスト 田中 悟

市場の不完全性と内部者取引 前山 誠也

永遠と時間（Ⅲの1） 小浜 善信

——プロチノスとアウグスチヌス——

第48巻 第2号 1997年9月

永遠と時間（Ⅲの2） 小浜 善信

——プロチノスとアウグスチヌス——

チアパスにおける先住民運動（IV）	小林致広
——ベヌスティアーノ・カランサの共同体成員の土地闘争——	
高松方言におけるアクセントと	
語音の関係について(2)	中井幸比古
『西儒耳目資』編纂過程推測の手がかり	太田齋
綱島梁川のキリスト教受容（その一）	關岡一成

第48巻 第3号 1997年9月

ラトヴィア語訳ルター・カテキズム（1586）	
に基づく『平行テキスト』の検討（I）	井上幸和
『バルクラボウ年代記』における	
——表記の規範意識について——	岡本崇男
ИМЕНА ДЕЙСТВИЯ НА “-НИЕ” И	
“-АЦИЯ” В РУССКОМ ЯЗЫКЕ	
НОВЕЙШЕГО ПЕРИОДА	Г.В.РАГУЛЬСКАЯ
アメリカ大陸のイスパニア語における	
叙法について（1）	福島教隆
ABCにおける形容詞の位置	宮本正美
A Minimalist Approach to Language, Mapping Rules and the Lexicon	Montserrat Sanz

第48巻 第4号 奥野 勝久 教授 追悼号 1997年9月

故 奥野勝久先生の思い出	梶田直樹
チアパスにおける先住民運動（V）	
——先住民による自治行政地区の創出運動——	小林致広
透明性をめぐる論攷	梶田直樹
——ジャン・ゲープサーの意識構造論（I）——	
テニス球戯史研究とペロタ・バスカ	
——1331年の文書から——	竹谷和之
異なるものの名	
ファリーダ・ベルグル『ジョルジェット！』と	
モニック・ヴィティッギ『オボボナクス』	武内旬子

ОРГАНИЗАЦИЯ СПЕЦКУРСА ПО
РУССКОЙ ИНТОНАЦИИ ДЛЯ
ИНОСТРАННЫХ СТУДЕНТОВ-
ФИЛОЛОГОВ ЗА РУБЕЖОМАндрей Евгеньевич Зайцев

第48巻 第5号 1997年10月

- | | |
|----------------------------|-------|
| <光景>考 | 佐藤 晴彦 |
| ——近世語彙研究の方法—— | |
| 元朝秘史傍訳における事態助詞“了” | 山川 英彦 |
| 『西儒耳目資』編纂過程推測の手がかり(続)..... | 太田 齋 |
| 結婚の法律的意味(その2) | 大島 和夫 |

第48巻 第6号 1997年11月

- | | |
|---|-------|
| 欧洲中央銀行の独立性と非救済ルール..... | 山上 宏人 |
| Outsourcing: A New Management Tool..... | 松浦 南司 |
| 「文明」論からみる「民主主義」(一) | 村田 邦夫 |
| 小谷鶴次教授の「世界連邦論」 | 家正 治 |

第48巻 第7号 1997年12月

- | | |
|--|-------------|
| 時間・テクスト・主体..... | 新野 緑 |
| ——『荒涼館』における「読むこと」—— | |
| NEGATIVE CONTRACTION
IN MIDDLE ENGLISH:
CHRONOLOGICALLY CONDITIONED? | Yoko Iyeiri |
| Eighteenth Century Irony: Hume Adrift | J. Kirwan |
| アメリカ大陸のイスパニア語における
叙法について(2) | 福鳶 敦隆 |

第49巻 第1号 倉盛 一郎 教授 記念号 1998年9月

- | | |
|--|-------------------|
| 倉盛一郎先生のこと | 羽下 大信 |
| Problems Related to the Acceptance of
Protestant Christianity in Modern Japan | SEKIOKA Kazushige |
| The Invisible Dance in the Face
of The Scattered | Hage Daishin |

チアパスにおける先住民運動（VI）

- チェナロオ地区における先住民組織の分化と対立 — 小林致広
 大航海時代のスポーツ
 — コバルビアス宝典（1611）のペロタ球戯 — 竹谷和之
 「民主主義」はどのように生成、
 発展してきたのか（I） 村田邦夫
 思い出の一端 倉盛一郎

第49巻 第2号 天野 和男 教授 記念号 1998年9月

- 天野先生を送る 井上幸和
 El Mundo 紙における連語の自動抽出 宮本正美
 aunque 節中の叙法について（1） 福島教隆
 バルト諸語訳ルター・小カテキズム 研究序説
 — ラトヴィア語訳（1586）vs.
 ドイツ語原文対照テキスト — 井上幸和
 信託法40条の書類閲覧・説明請求権について 植田淳
 “書く”ことをめぐる揺れ動き 大西亮
 — 「追い求める男」における言葉の乗り越え —
 フランスの中のロシアと「ニッポンスキー」 天野和男

第49巻 第3号 1998年9月

中央式諸方言における複合名詞の

- アクセントについて 中井幸比古
 イギリスとカナダの王立委員会制度 品田充儀
 バルト諸語訳ルター・小カテキズム 研究序説
 — ラトヴィア語訳（1586）vs.
 ドイツ語原文対照テキスト — [承前] 井上幸和
 魯迅『古小說鉤沈』校本 九 殷芸小說（三續完）妬記 中島長文

第49巻 第4号 1998年9月

- 竹林著『女巫』の晦渺さについて 原田松三郎
 『脈望館鈔校本古今雜劇』新探 佐藤晴彦
 中国の都市農村二元構造論再考 秦兆雄
 中國小說史略考証 第十三 中島長文

第49巻 第5号 北畠 霞 教授 記念号 1998年10月

- 北畠 霞先生をお送りして 家 正治
 パレスチナ人民の自決権とオスロ合意（上） 家 正治
 Cost of Information in Decision Analysis Nanshi Matsuura
 東アジア通貨危機とドル・ペッグ制 山上 宏人
 Japanese Foreign Language Acquisition
 Planning: Analysis of the Documents
 of the Curriculum Council's Meetings Terunao Abe
 「民主主義」はどのように生成、
 発展してきたのか（II） 村田 邦夫
 The Story-Truth after Twenty Years:
 The Narrative of Tim O'Brien's
The Things They Carried Miki Shinoda
 外大の思い出 北畠 霞

第49巻 第6号 中川 時雄 教授 記念号 1998年11月

- 中川先生を送る 山崎 隆司
 河野先生を送る辞 村田 純一
 擬態の悲劇 御輿 哲也
 —『西欧の目の下に』試論—
 Wharton's Double Voices
 in *The House of Mirth* Yoko Tsujimoto
 IN の拡張的用法について
 —容器性の希薄化— 村田 純一
 Historical Present in the Cotton Nero A.x. Poems:
 Authorship Reconsidered Yoko Iyeiri
 接辞形態素の等位接続可能性について（その1） 岡田 穎之
 TN's Spiritual Autobiography: Tokio Nakagawa
 思い出 河野 守夫

第49巻 第7号 1998年12月

- コースの定理と流動性問題
 —有限責任制の論理への一視点— 前山 誠也

金融制度改革と利益相反問題

- アメリカ法からの示唆— 植田 淳
 組織内での情報の非対称性と寡占企業行動に関するノート
 —情報精度による特徴付け— 新海 哲哉
 累積的技術革新と特許保護範囲 田中 悟
 公的空間における宗教的展示 山口 智

第50巻 第1号 1999年9月

- 大学の自治と大学改革（その1） 大島 和夫
 仮想取引の論理と会計評価の可能性 前山 誠也
 —市場、取引、会計をめぐって—
 イギリス法における信託受託者
 の自己執行義務 植田 淳
 創業者経営企業と経営者管理企業から
 なる複占市場分析 新海 哲哉
 —情報の非対称性と費用格差の見地より— 岡村 誠
 90年代アメリカにおける宗教活動の自由 山口 智
 —宗教の自由回復法（RFRA）の顛末—
 EC集中規則における規制基準の展開（1） 武田 邦宣
 アメリカにおける
 放射線被曝労働者の救済（1） 品田 充儀

第50巻 第2号 1999年9月

- 透明性をめぐる論攷 梶田 直樹
 —ジャン・ゲーブサーの意識構造論（Ⅱ）—
 チアパスにおける先住民族運動（VII） 小林 致広
 —女性革命法の提起と先住民女性運動の展開—
 バスクを開く語り—フランス現代小説とバスク 武内 旬子
 ディスコース心理学の展開に向けて 田村 美恵
 19世紀ウィーンの近代市民階層と読書文化 山之内 克子

第50巻 第3号 1999年9月

- ロシア／ソ連における日本文学の輪郭 リュドミーラ・エルマコワ
 (19世紀末期からエリセーエフまで)

バルト諸語訳ルター・小カテキズム研究序説	井 上 幸 和
——ラトヴィア語訳 (1586) vs.	
ドイツ語原文対照テキスト—— [承前, 了]	
16-17世紀南西ルシ文章語における	
動詞過去形の規範について	岡 本 崇 男
ロシア正教と禁欲主義の伝統	清 水 俊 行
——ロシアにおけるフィロカリヤの受容について——	
アメリカ大陸のイスパニア語における	
叙法について (3)	福 嵐 教 隆

第50巻 第4号 安達 隆一 教授 記念号 1999年9月

安達先生を送る	益 岡 隆 志
反事実性と人称	益 岡 隆 志
イエナ時代のヘルバルト	杉 山 精 一
——1796年の足跡——	
チアパスにおける先住民族運動 (VIII)	小 林 致 広
——先住民女性の抑圧的伝統との戦い——	
『古小説鈎沈』校本 (軼事小説之部) 人名索引	中 島 長 文
想い出の記	安 達 隆 一
様々な他者——ドゥルーズの他者論をめぐって	田 中 敏 彦

第50巻 第5号 1999年10月

容興堂本『水滸傳』成立の一側面	佐 藤 晴 彦
論汉语方言中的“类音牵引”和“同音词冲突”	太 田 斎
中国湖北省農村の宗族と政治の変化	秦 兆 雄
ルター・小カテキズムにおける	
聖書引照 [資料], 1.	井 上 幸 和
——現代ドイツ語訳聖書との対照—	
中國小説史略考證 第十四	中 島 長 文

第50巻 第5号 西 義郎 教授 記念号 1999年11月

西 義郎先生をお送りする辞	家 正 治
国際人権保障と「友愛」に関する覚書	家 正 治
EU通貨統合とユーロの国際化	山 上 宏 人

QUEUING ANALYSIS IN HEALTH

- CARE MANAGEMENT Nanshi Matsuura
 大学の自治と大学改革（その2） 大島和夫
 EC集中規則における規制基準の展開（2・完） 武田邦宣
 「今は昔」 西義郎

第50巻 第7号 須藤淳 教授 記念号 1999年12月

- 悠々たる大河——須藤淳先生を送ることば 中野道雄
 Speculations on Unsolved Problems

- in Word Grammar Kensei Sugayama
 三人のガヴァネス
 —ベッキー・シャープ, ジェイン・エア,
 アグネス・グレイ— 新野緑
 接辞形態素の等位接続
 可能性について（その2） 岡田禎之
 -ant/-entの強勢付与とレキシコンの理論 三間英樹
 「ノスタルジアと死の感覚：
 ゴスラー詩におけるワーズワズ」 吉川朗子
 英語の表現形式と翻訳 中野道雄
 形容詞句の Specifier-position に現われる
 機能語副詞について 家口美智子
 My Linguistic Pilgrimage 須藤淳

第51巻 第1号 山崎隆司 教授 記念号 2000年9月

- 山崎先生のこと 山田勝
 英語の表現形式と翻訳（Ⅱ） 中野道雄
 Right Node Raising 構文に関する一考察 岡田禎之
 "They Aint Human": Faulkner の
*Pylon*について 田川幸二郎
 An Essay on Postmodern Sensibility, Not: Or, Observations on the Last Quarter of
 the Twentieth Century, together with Some Reflections Applicable, Significantly
 Enough, to the Examination of Other Periods JAMES KIRWAN
 VARIATIONS ON FORM (II) DAVID FARRAH
 Orphans and Envy: The Leisured West Cathryn Halverson

<i>A Clockwork THERE Construction</i>	Mark Campana
W.S. Maugham, <i>Of Human Bondage</i> に関する一考察	
—Spinoza, <i>The Ethics</i> をめぐって —	梶田理子
If-clause 再考	西岡武彦
—関連性理論の視点から—	
想い出すままに.....	山崎隆司
—混沌の世代より	

第51巻 第2号 2000年9月

経営者の評価と会計システム.....	前山誠也
—日米コーポレートガバナンスの比較分析に向けて—	
情報の非対称性と新製品の導入戦略.....	田中悟
コンビニ契約の法的問題点(その1).....	大島和夫
介護保険契約の法的性格とその規制.....	品田充儀
協同組合における外部監査の研究(要約).....	多木誠一郎

第51巻 第3号 2000年9月

スイス時代のヘルバルト.....	杉山精一
—ヤコービかピノザか—	
啓蒙期ウィーンの「都市描写」.....	山之内克子
—ヨハン・ペツル『ウィーンのスケッチ』を中心に—	
ルター・小カテキズムにおける聖書引照 [資料] 2(1)	井上幸和
—バルト諸語訳における聖書引照の対比—	
コンビニ契約の法的問題点(その2)	大島和夫
中國小説史略考證 第十五	中島長文

第51巻 第4号 2000年9月

アメリカ大陸のイスパニア語における 叙法について(4)	福鳥教隆
El discurso borgíco como discurso legitimador	Emilio J. García Pozo Universidad de Alcalá
ルター・小カテキズムにおける 聖書引照 [資料] 2(2).....	井上幸和
—バルト諸語訳における聖書引照の対比(承前)—	

現代ロシア語の学校文法における

- 機能モデルへの視座 村上光昭
 ミハイロ・ルチカイ
 『スラブ語・ルシン語文法』における動詞規範 岡本崇男
 イイススの祈りと「知恵のいとなみ」 清水俊行
 —ビザンツとロシアの祈りのコスモロジー—
 К проблеме эволюции категории
 твёрдости-мягкости
 как языковой универсалии. Воробьева Н.М.

第51巻 第5号 2000年10月

- チアパスにおける先住民運動(IX) 小林致広
 —ラカンドン密林の入植と自然保護キャンペーン(その1)—
 現代宇宙論における「人間原理」について 佐藤通
 アルジェリア女性による90年代
 フランス語表現文学 武内旬子
 意味生成の場としてのコミュニケーション 田村美恵
 —先行研究の概要と今後の課題—
 綱島梁川のキリスト教受容(その二) 關岡一成
 個体論(II) 田中敏彦
 —ドゥルーズの個体過程観について—

第51巻 第6号 2000年11月

- 元明期の文字表記 佐藤晴彦
 —<個>の出現をめぐって—
 忠傳語法札記 山川英彦
 —白話資料としての忠傳—
 見かけ上の合音 太田斎
 —語彙化の音声的現れ—
 中國小説史略考證 第十五(續) 中島長文

第51巻 第7号 2000年12月

- バンジュール憲章の実施措置と
 アフリカ人権裁判所 家正治

- International Technology Management Nanshi Matsuura
 プローディの失脚・ダレーマの挫折・「オリーヴの木」
 の自殺：グローバリゼイションとヨーロッパ統合の
 下での中道左派政権のアポリア 村上 信一郎
 『史的システムとしての民主主義』再考 村田 邦夫
 ヨーロの国際政治経済学 山上 宏人
 「国連憲章99条に基づく国連事務総長の「默示的権限」
 —その機能と一般的容認の存否— 末吉 洋文

第52巻 第1号 家正治教授記念号 2001年9月

- 家正治教授退官記念号によせて 和田 幸子
 円の国際化とアジア通貨危機 山上 宏人
 —外為審答申『21世紀に向けた円の国際化』をめぐって—
 欧州経済通貨統合と
 イタリア政治の構造変容(1) 村上 信一郎
 「民主主義」論についての考察(1) 村田 邦夫
 「経済開発論」再考 和田 幸子
 —グローバルな連関性の強まる中で—

INTERNATIONALIZATION OF

- PERSONNEL MANAGEMENT Nanshi Matsuura
 ヒロイズムの脱構築
 —Tim O'Brienの作品における男と女 篠田 実紀
 国際法(学)と私 家正治

第52巻 第2号 2001年9月

- A NOTE ON THE RELATIONAL
 NATURE OF POSSESSION Shiro WADA
 空白の語るもの 新野 緑
 —『アグネス・グレイ』におけるジェンダーと語り—
 辞書記述におけるコンピュータ
 コーパスデータの扱い 村田 純一
 —形容詞の限定・叙述用法について—
 多義を記述するために 山口 治彦
 —多義構造と辞書記述のテクスト構造—

Sloppy identity reading に関する一考察 岡田禎之

第52巻 第3号 宮原一武教授記念号 2001年9月

宮原一武先生の思ひ出 大島和夫
不完全な会計とその可能性 前山誠也
補完的技術革新下における

ライセンシングと研究開発競争 新海哲哉
田中悟

特許権の価値に関する

ノンパラメトリックな検定 倉本幹男
株主代表訴訟をめぐる動き（その1） 大島和夫
わが国におけるインサイダー取引規制 粟山修
イギリス担保物権法の特質について 植田淳
外大26年の「主観的」点描 宮原一武

第52巻 第4号 2001年9月

説明・判断のモダリティ 益岡隆志
ブレーメン時代のヘルバート 杉山精一

一直觀教授への軌跡—

株主代表訴訟をめぐる動き（その2） 大島和夫
キレエフスキイの正教思想とオプチナ修道院 清水俊行
——妻ナターリアやマカーリイ長老との

魂の交流の記録から——（前編）

アルバ・イシュトリルショチトルの
記録文書に見る先スペイン期の歴史 井上幸孝
中國小説史略考證 第十六 中島長文

第52巻 第5号 2001年10月

「M・ツヴェターエワの詩学に

おけるプーシキンのテーマ」 渡辺侑子
——『わがプーシキン』を中心に——

現代ロシア語の人称と数に通底するもの 村上光昭
話者のまなざしと聞き手

- ルター・小カテキズムにおける
聖書引照 [資料], 2 (3—1) 井上 幸和
- バルト諸語訳における聖書引照の対比 (承前)—
- ベラルーシ・リトニア年代記の
言語規範 (1) 岡本 崇男
- 名詞の形態規範——
- キレエフスキイの正教思想とオプチナ修道院 清水 俊行
- 妻ナターリアやマカーリイ長老との
魂の交流の記録から—— (後編) ——
- アメリカ大陸のイスパニア語における
叙法について (5) 福島 教隆
- スペイン語における新語抽出 宮本 正美
- 時制研究史における
AMÉとHE AMADO [II] 西川 喬

第52巻 第6号 2001年11月

- 地域性からの逃走—
Aysel Özakin『青い仮面』 浜崎 桂子
- チアパスにおける先住民運動 (X) 小林 致広
- ラカンドン密林の入植と自然保護キャンペーン (その2) ——
- 欧州経済通貨統合と
イタリア政治の構造変容(2) 村上 信一郎
- Внутриязыковые условия реализации
категории вежливости (КВ) : на
материале побудительных предложений с
глагольной формой индикатива Аоки Норико
- 海老名彈正と「日本のキリスト教」 關岡 一成
- ドゥルーズ哲学の地図 田中 敏彦

第52巻 第7号 原田松三郎 教授 記念号 2001年12月

- 原田先生 山川 英彦
- 『中国語歴史文法』解体 佐藤 晴彦
- 断代史改編への試み——

汉语北方方言常用词的特殊演变.....	太田 竜
—“煎饼”、“灯蛾”、“狐狸精”、“啄木鸟”—	
中国湖北省農村家族の変化過程.....	秦 兆 雄
ルター・小カテキズムにおける	
聖書引照 [資料], 2 (3—2).....	井 上 幸 和
—バルト諸語訳における聖書引照の対比 (承前, 了)—	
台湾権威主義体制の性格規定.....	原 田 滋
四恩に感謝する——わが生涯の断章.....	原 田 松三郎
中國小説史略考證 第十七.....	中 島 長 文

第53巻 第1号 2002年9月

『三遂平妖傳』は何時出版されたか?	佐 藤 晴 彦
—文字表記からのアプローチ	
漢語の身体名称に見られる特殊変化 (1).....	太 田 竜
—「踝」の諸語形をめぐる憶説—	
初级汉语课本：从初级课本到学习过程.....	吳 静 媛
中国湖北省一農村の異姓養子の	
帰宗現象について.....	秦 兆 雄
現代中国語におけるアスペクト助詞	
“了”と「文終止」問題について	下 地 早智子
中國小説史略考證 第十七續	中 島 長 文
句 端 初 探.....	山 川 英 彦

第53巻 第2号 2002年9月

政治の人格化について.....	村 上 信一郎
—序 章—	
「民主主義」論についての考察 (2).....	村 田 邦 夫
Good News, Bad News and Exchange	
Rate Volatility in the Asian	
Crisis: A GARCH Application	Taro Esaka
AGRICULTURAL TRADE AND	
PROTECTIONISM.....	Nanshi Matsuura
“Shit Field” の比喩するもの——文学	
作品としての <i>The Things They Carried</i>	篠 田 実 紀

「五四新文化運動」に関する一考察 張 小 苑

—研究動向から見えてくるもの—

「国際の平和及び安全」に関する

国際連合事務総長権限の研究（要約） 末 吉 洋 文

第53巻 第3号 中野 道雄 教授 記念号 2002年9月
高原 修

中野先生を送る 和田 四郎

高原先生のこと 山口 治彦

Possession and selection of prepositions Shiro WADA

Meaning in Dictionaries:

How best to incorporate lexical semantic

information into dictionaries Kensei Sugayama

直示動詞と対話空間：

英語、日本語、そして九州方言をもとに 山口 治彦

Sloppy identity readingに関する一考察（補遺） 岡田 穎之

帰属場所を求めて 吉川 朗子

—ワーズワス兄妹によるスコットランド旅行（1803年）—

A Composer Composed Kensei Nishikawa

—Acts of Divine Composition in George Herbert's Poetry—

Negative infinitives and their implications

for phrase structure Norio Nasu

作家の絵、画家の言葉 松井 かや

—To the Lighthouseにおける、エレジーを「書く／描く」試み—

神戸外大と僕 中野 道雄

外大での想い出 高原 修

第53巻 第4号 2002年9月

食品の安全性の確保と表示（その1） 大島 和夫

忠実義務を排除する特約の有効性について 植田 淳

—信託受託者の場合—

国際商慣習法における商学的規範の重要性 中村 嘉孝

米国連邦私的証券詐欺訴訟をめぐる

最近の動向(1) 栗山 修

補完的技術革新下における

- 研究開発競争と特許保護政策 新 海 哲哉
 岡 村 誠
 田 中 悟

第53巻 第5号 2002年10月

クリケットを読む

- 短編小説「センチュリー」から 山 田 誠
 心理学と宗教（靈性） 村 本 詔 司
 永遠回帰—輪廻・再生の時間構造 小 浜 善 信
 わが国における地方行政情報基盤の構築と運用 芝 一 勝 徳
 —総合行政ネットワーク(LGWAN)の設計と実装方針を中心にして—

マリカ・モカデム

- 砂漠からエクリチュールへ（前） 武 内 旬 子
 食品の安全性の確保と表示（その2） 大 島 和 夫

第53巻 第6号 2002年11月

イスパニア語の「～ということ」節に

- おける叙法選択について 福 嶽 教 隆
 スペイン語における新語抽出—2—：
 （語幹的）接尾辞 宮 本 正 美
 近代ロシアの修道性と長老制の発展について 清 水 俊 行
 —オプチナ修道院前史より—

意識の方法としてのテキスト 村 上 光 昭

- チェーホフおよびゴンチャロフの断片
 『ドン・キホーテ』における創造世界 鈴 木 正 士
 —キホーテによる非騎士道世界から—

騎士道物語世界への変換行為をとおして—
 コルタサルによる「まやかし

- のリアリズム」批判 大 西 亮
 —短編小説を中心にして—
 中國小説史略考證 第十八續 中 島 長 文

第53巻 第7号 2002年11月

- マリカ・モカデム 武内旬子
- 砂漠からエクリチュールへ（後） 武内旬子
- 現代日本語の静的述語の 福田嘉一郎
- テンポラリティについて 福田嘉一郎
- 他者の判断が合意性推定に及ぼす影響 田村美恵
- 課題の重要性との関連で——
- 米国連邦私的証券詐欺訴訟をめぐる 栗山修
- 最近の動向(2) 栗山修
- 津田左右吉の『老子』思想の 郭永恩
- 研究について 郭永恩
- 海老名彈正「自伝的略年譜Ⅰ」について 關岡一成

第54巻 第1号 2003年9月

- チアパスにおける先住民運動（XI） 小林致広
- ラカンドン密林の入植と自然保護キャンペーン（その3）——
- 西田幾多郎の哲学（II—1） 小浜善信
- 歴史的世界の時空構造——
- 大学生の宗教意識について 關岡一成
- 神戸市外国語大学における意識調査を中心として——
- 小説を書く権利 武内旬子
- アジア・ジェバール初期小説を読む 山之内克子
- ウィーンとベルリン：「啓蒙」をめぐる論争 山之内克子
- ヨハシ・フリーデル『ウィーンからの手紙』 郭永恩
- とその反論文書をめぐって
- 長谷川如是閑の思想の真髄 郭永恩
- 『老子』研究の観点から——

第54巻 第2号 2003年9月

- 『中国語歴史文法』解体（II） 佐藤晴彦
- 断代史改編への試み——
- 漢語の身体名称に見られる特殊変化（2） 太田斎
- 「踝」の諸語形をめぐる憶説——

- 日本学生对学习汉语的心声 吳 静 媛
 中国湖北省一農村の宗族内婚について 秦 兆 雄
 中國小說史略考證 第十九 中 島 長 文

第54卷 第3号 2003年9月

- 「小康社会」への課題は何か 和 田 幸 子
 ——中国・内蒙古自治区の「持続可能な経済発展」考——
 メディア・デモクラシーのもとでの
 政治の家産制化について (1) 村 上 信一郎
 ——ベルルスコーニ問題序説——
 「民主主義」論についての考察 (3) 村 田 邦 夫
 神戸市外国語大学・英語教育学修士課程
 に関するアンケート調査結果 大学院英語教育学専攻
 設置準備ワーキンググループ
 漢語の身体名称に見られる特殊変化(3)(完) 太 田 斎
 —「踝」の諸語形をめぐる憶説—
 中國小說史略考證 第十九續完・第二十 中 島 長 文

第54卷 第4号 2003年9月

- Why *kono akai hana* and *akai kono hana*
 Are Both Possible in Japanese:
 A Word Grammar Account Kensei Sugayama
 対話の話法、語りの話法 山 口 治 彦
 —英語話法再考 (2) —
 Defending A-Movement Norio Nasu
 Eliciting speech act data on complaints:
 Cartoon-prompt MCQ versus
 Cartoon-prompt DCT Donna Tatsuki
 「暮らしの中の死
 —Dorothy Wordsworth の死生観」 吉 川 朗 子
 真実を見据えた嘘 西 川 健 誠
 —Richard Wilbur, 'Lying' 試論—

第54巻 第5号 2003年10月

- 行政計画と取消訴訟（その1） 大島和夫
 エリサ法（ERISA）の信認義務に
 関する基礎的考察 植田淳
 ——年金資産運用における受託者責任——
 アリスの国の会計 前山誠也
 UNIDROIT 原則における不履行の概念 中村嘉孝
 証券取引に関する最近の最高裁判決 粟山修
 ドイツにおける第3次
 ハントヴェルク秩序法改正を巡る動向 近藤義晴
 株式保有の競争制限効果と競争法(1) 林秀弥
 ——「単独行為による市場支配力」の分析を中心に——

第54巻 第6号 2003年11月

- コナン・ドイルとクリケット 山田誠
 鈴木大拙と心理学 村本詔司
 チアパスにおける先住民運動（XII） 小林致広
 ——ラカンドン密林の入植と自然保護キャンペーン（その4）——
 メディア・デモクラシーのもとでの
 政治の家産制化について（2） 村上信一郎
 ——ペルルスコーニ問題序説——
 行政計画と取消訴訟（その2） 大島和夫
 株式保有の競争制限効果と競争法（2・完） 林秀弥
 ——「単独行為による市場支配力」の分析を中心に——

第54巻 第7号 渡辺 侑子 教授 記念号 2003年12月

- 渡邊先生について 岡本崇男
 ОБРАЗ ЯПОНИИ В РОССИИ
 XVIII-НАЧАЛА XIX ВЕКА Л.М. Ермакова
 ゴーゴリの宗教的世界観 清水俊行
 ——聖地巡礼からオプチナ修道院へ——
 イスパニア語接続法の教育方法について 福島教隆

MUNDO VISIONARIO EN LA POESÍA DE GONZALO ROJAS.	
ARQUETIPOS E IMÁGENES.	Nerea Serrano
ソグドの壁画と 東方に移住したソグド人の装具(要約)	影山 悅子
(資料: ペンジケント遺跡出土壁画資料)	
Post predicate <i>that-clauses and</i> <i>that-taking verbs</i> in present-day English:	
A descriptive approach (要約)	住吉 誠
神戸を想う	渡辺 侑子

第55巻 第1号 中嶋 長文 教授 記念号 2004年9月

中嶋長文先生.....	佐藤 晴彦
『中国語歴史文法』解体(Ⅲ).....	佐藤 晴彦
——断代史改編への試み——	
「回紇 huíhé」の「紇 hé」.....	太田 斎
日本汉语学生的 学习心得与对汉语教学的意义	吳 静媛
中国語の条件表現.....	下地 早智子
Axi and Azha	岩佐 一枝
—Descriptive, Comparative, and Sociolinguistic Analyses of Two Lolo Dialects of China— (要約)	
『水滸伝』的“教”字句	能勢 梅子
王勃伝記資料集.....	山川 英彦
留別.....	中島 長文

第55巻 第2号 2004年9月

新たな世界経済の体系を求めて	和田 幸子
——パクス・アメリカーナの終焉とグローバリゼーション——	
Value of Information in Healthcare Management	Nanshi Matsuura
メディア・デモクラシーのもとでの 政治の家産制化について(3).....	村上 信一郎
——ベルルスコニ問題序説——	

- 沈黙と抵抗 —— 日系アメリカ文学に
見られる1世と2世の女性たちの葛藤 篠田 実紀
What Determines Purchasing Power Parity
between Japanese Cities? Taro Esaka

第55巻 第3号 山田 勝 教授 追悼号 2004年9月

- 追悼 山田 勝先生 御 輿 哲 也
How Discourse/Cognitive Factors Can
Influence Argument Realisation:
A Case of Object Omission Kensei Sugayama
Be Prepared to Speak — A Step-by-Step
Video Guide to Public Speaking に
みるパブリックスピーキング論 野 村 和 宏
文の結束関係と残留要素の
相関関係について(その1) 岡 田 祐 之
Constructing a film corpus for
pragmatics research: Stage one —
an internet poll Donna Tatsuki
ワーズワスの旅 —
Sweet Wayfaring/Sweet Return 吉 川 朗 子
夫婦の交わり、神との交わり 西 川 健 誠
——『楽園喪失』における夫婦愛と信仰(上) —
言葉とヴィジョンのあいだ 松 井 か や
——『幕間』試論 —

第55巻 第4号 2004年9月

- 違約金の合意の効力 大 島 和 夫
無知のヴェールと減価償却 前 山 誠 也
「慎重な投資(prudent investment)」
に関する一考察 植 田 淳
——エリサ法(ERISA)および信託法の分散投資義務を中心として —
商学的見地からの94年 UNIDROIT
原則の評価と2004年原則 中 村 嘉 孝
裁判所庁舎の十戒記念碑 山 口 智

判例研究

- 取引段階の異なる事業者が行った共同ボイコットが
不公正な取引方法に当たるとされた事例 林 秀 弥

第55巻 第5号 關岡 一成 教授 記念号 2004年10月

- 關岡一成先生のこと 竹 中 均
 西田幾多郎の哲学（Ⅲ） 小 浜 善 信
 　　——身体としての精神、精神としての身体——
 匿名保証サービス 芝 勝 徳
 　　——個人情報保護の観点から——
 ユングと仏教の出会い 村 本 詔 司
 サパティスタの先住民自治の実践 小 林 致 広
 　　——10年間の実践と自治行政地区の再編——（その1）
 アルジェの女たちはどこにいるのか 武 内 旬 子
 　　——アシア・ジェバール『アルジェの女たち』を読む——
 1983年4月—2004年3月 關 岡 一 成

第55巻 第6号 2004年11月

- 翻訳・母語日本語とロシア語の狭間で 村 上 光 昭
 　　——言語意識とメンタリティ——
 レオンチエフの思想遍歴とオプチナ修道院（前編） 清 水 俊 行
 ディオニユソスと認識 北 見 諭
 　　——ヴァチェスラフ・イワノフのニーチェ批判——
 スペイン語の冠詞について 西 川 喬
 　　——「作文」の授業から見た学習上の問題点と教授法（1）
 スペイン語の不規則動詞分類 宮 本 正 美
 aunque節中の叙法について（2） 福 鳶 敦 隆

第55巻 第7号 2004年12月

- 現代宇宙論における「人間原理」について（2） 佐 藤 通
 書評論文
 P.O.Skjaervø, *Khotanse manuscripts from Chinese Turkestan in the British Library* 吉 田 豊

イラク人質事件における「自己責任論」への
態度に影響を及ぼす心理学的要因の検討 (1) 田 村 美 恵
——国民意識のあり方、及び、自己責任論へ
の賛否に関する理由記述に注目して——

English Immersion

at Katoh Gakuen Elementary School:
the Program and the Children Rayco Yokota
M&A活動に対するインセンティブ：一ノート 田 中 悟

第56巻 第1号 和田 幸子 教授 記念号 2005年9月

和田幸子先生の思い出 村 田 邦 夫
QUANTITATIVE APPROACH

IN CLINICAL DECISIONS Nanshi Matsuura
ギリシャの外国語教育政策 阿 部 晃 直
——習熟度国家検定試験制度 (KPG) を中心に——

世界農産物貿易における

パクス・アメリカーナの後退過程・試論 千 葉 典
——1980年代を中心に ——

Did Sterilization of Capital Inflows Really

Increase Domestic Interest Rates?:
Evidence from East Asia Taro Esaka
グローバリゼーションの波及と中国の農村開発 嘎 日 迪
——内モンゴル自治区の農村開発の事例に即して——

私の戦後史と社会科学研究への思い 和 田 幸 子

第56巻 第2号 2005年9月

The Proper Binding Condition

and Theta-Marking Norio Nasu
文の結束関係と残留要素の

相関関係について（その2） 岡 田 穎 之
Understood Objects in Japanese and

English: A Word Grammar Account Kensei Sugayama
Telephone call behavior in films
and language textbooks Donna Tatsuki

直接話法は有標の構造である.....	山 口 治 彦
—対話的コンテクストにおける話法の実際—	
現代社会における見えざる移住者.....	南 川 文 里
—ロスアンジェルス在住日本人若者層の非合法就労とステイタス—	
夫婦の交わり、神との交わり.....	西 川 健 誠
—『楽園喪失』における夫婦愛と信仰(下) —	
嘘をつく女： <i>Alias Grace</i> 考	辻 本 庸 子
凡庸な視点.....	小 川 早 苗
— <i>Northanger Abbey</i> を読む—	
On the order of the TAM marker, the question particle <i>mi</i> and the personal suffix in Turkish	Taiki Yoshimura

第56巻 第3号 大塚 秀之 教授 記念号 2005年9月

大塚秀之教授を送る	東 谷 頴 人
高齢社会の到来と信託の活用	植 田 淳
—期待される信託の機能についての一考察—	
契約法の変容(その1).....	大 島 和 夫
—消費者契約法と労働契約法の登場—	
国際商取引における <i>Soft Law</i> の意義.....	中 村 嘉 孝
ドイツ中小製造企業における	
熟練技能労働者不足.....	近 藤 義 晴
業績表の掲載にあたって.....	大 塚 秀 之

第56巻 第4号 2005年9月

チアパスにおける先住民運動(XIII)	小 林 致 広
—ラカンドン密林地域における入植と 自然保護キャンペーン(その5)—	
賭とバスケスポーツ文化	竹 谷 和 之
Goethe's <i>Faust</i> as the Historical Background of Jung's Life and Works	Shoji Muramoto
フィヒテ・クラブとヘルバルト(1)	杉 山 精 一
～1790年代後半のイエナの若者たち～	
契約法の変容(その2)	大 島 和 夫
—消費者契約法と労働契約法の登場—	

日本語の限定詞の機能（要約）	建 石 始
—名詞の指示の観点から—	
「五四新文化運動」と中国知識人	張 小 苑
—「伝統」と「近代」との交錯（要約）	
社会変容に伴う聖人の能力の多様化	小 林 貴 德
—メキシコ・ゲレロ山岳部トラパネカ社会におけるサン・マルコス崇拜—	

第56巻 第5号 2005年10月

ロシア語史研究における	
「アーカニエ」の扱いについて	岡 本 崇 男
レオンチエフの思想遍歴とオプチナ修道院(中編)	清 水 俊 行
リモーノフって	村 上 光 昭
電子辞書のためのスペイン語	
動詞活用形の展開	宮 本 正 美
スペインにおけるエラスミスモの受容と	
そのスペイン化に関する考察	野 村 竜 仁
カルロス・フェンテスの小説世界	成 田 瑞 穂
—神話と歴史／物語へのまなざし—（要約）	
格階層と格順序決定	野 口 卓 真

第56巻 第6号 2005年11月

現代日本語の動的述語の	
テンポラリティについて	福 田 嘉一郎
移民たちの「声」を書きとめる試み	浜 崎 桂 子
サバティスタの先住民自治の実践	小 林 致 広
—10年間の実践と自治行政地区の再編一（その2）	
死を書く方法としての虚構	武 内 旬 子
アシア・ジェバール『オラン、死んだ言葉』	
イラク人質事件における「自己責任論」への	
態度に影響を及ぼす心理学的要因の検討（2）	田 村 美 恵
—アイデンティティ・ステイタスとの関連について—	
The Rainbow Bakery	Rayco Yokota

第56巻 第7号 2005年12月

- 同義語の変遷 佐藤晴彦
——“田地”“地面”“地方”“地步”をめぐって——
- “媳妇”が関わる民間語源三題 太田斎
——中国語西北方言の例を中心に——
- 論文明内部対話 秦兆雄
- 欧陽脩の美醜意識とその表現 緑川英樹
——韓愈詩「醜惡の美」の受容をめぐって——
- レオンチエフの思想遍歴とオプチナ修道院（後編） 清水俊行